

山歩しよう

No.190

2012 年 6 月 28 日

山のベテラン

アラスカのマッキンレーで宮城県のパーティが雪崩の犠牲になりました。マッキンレーと言えばあの上村直己が眠っている山です。そのような山に行く人対だから、私たちのレベルとはまったく別次元の登山者と言うことになります。

報道されていることしか知りませんが、彼らの登山には間違ったところはないようです。少なくとも私にはそのように見えます。無理をして登山を強行したわけでもありませんし、雪崩が多発する時間帯に行動していたわけでもありません。しかし、彼らは雪崩の犠牲になりました。不運としか言いようがありません。

彼らの登山は私たちとは別次元のものなのでこれ以上のコメントはできません。ただ、このような事故のとき〇〇さんは登山暦●●年のベテランだった報道されますが、このような言い方は好きになれません。何年山をやった人がベテランと呼ばれるのか分かりませんし、年数だけで経験を云々するのはおかしいからです。彼らが報道することにいちいち目くじらを立てる必要はないのですが、私自身はそもそも山登りにはベテランはいない、と思っています。これもまあ私の独断と偏見には違いないのですが、、、、。

「ベテラン」という言葉を辞書で見ると「長年の経験があり、熟達した人」とか「古つわもの」と言うように説明されています。この意味はお分かりの通りです。これらの説明は、私たちが良く使う言葉で言えば「日常世界」のことですね。スポーツの世界にたとえれば、要は人間相手の経験であり、その人間を相手にして勝つ方法に熟達した人がベテラン、と言うことになります。

しかし、山では、その山がどんなに小さくても、そこは「非日常の世界」であり、私たちが相手にするのは「自然」なのです。その非日常の世界の自然を相手にしたとき、日常世界の常識では考えられないことが起こり得ます。想定外と言ってしまえばそれまでですが、想定外のことが起こるのが自然だと割り切ってしまうと、その「想定外の事態」を予測することは人間には出来ないことになります。何だか理屈っぽいことを書きましたが、その理屈が私の独断であり偏見でも

あるのです。

その独断に立てば山にはベテランはいない、ということになるのですが、この屁理屈（？）をお分かり頂けるでしょうか？

私も山に関ってから半世紀が過ぎました。年数だけで言えばベテランと言われるかも知れませんが、しかし、私はこれまで一度も自分が山のベテランだと思ったことはありませんし、また、ハッキリ言えばそのように言われることは嫌です。間違っても言って欲しくないと考えています。

私のへ理屈は屁理屈として、山では想定外のことが起こるのが当たり前だと言う認識にたって、いつも謙虚な気持ちを持って歩きたいものです。

ストックを上手に使いましょう

最近私はストックを持ち歩き多少はその使用法を経験しました。その経験上の話ですが、私の方法は登山の本などに紹介されているのと少し違うところがあるようです。まさに河原流ですが、その河原流が良いか本で紹介されているほうが良いかは別として、年々歳をとって行く私たちとしてはストックを上手に使いましょう。ストックは上手に使える間違いなく優れものです。

ストックの使い方

- 1: ストックは歩行補助用品と心得ること
- 2: マスト（must）発想はやめること
 - * 登山中ずっと使わねばならないものではありません。
 - * 握りの部分だけを持たねばならないものではありません。
 - * 教科書通り（たとえば登りは短く、下りは長く）の使い方をしなければならぬものではありません。

以上の２点だけはしっかりと頭に置いて使っていただきたいですね。特に２番目の項目。ストックではありませんが、山の道具は使ってなんぼの世界です。唯一絶対的な方法はないはずですが、その道具を使うためにはフレキシブルな発想をすることが大切なのです。どのような道具も使い方を誤ると凶器になることだってあり得ます。

具体的なことは室内例会で、、、。年々足腰が弱って行く私たちにとってストックは優れた歩行補助用品ですから、上手に使うよう日々心がけましょう。

2012 年 7 月の予定

月例極楽寺山 (No. 926)

と き 7 月 17 日 (火)

裏山歩き

と き 7 月 6 日 (金) (No.923) 10 日 (火) (No.924) 13 日 (金) (No.925)
20 日 (金) (No.927) 27 日 (金) (No.929)

皿が峰 (No. 922)

と き 7 月 3 日 (火)

集 合 集会所 6 時 00 分

申込み 7 月 1 日

昨年行った皿が峰にヒマラヤの青いケンを見に行きます。
頂上にこだわらないで自然観察をしながら適当に歩きます。
ハッキリ雨の場合は中止にします。

三段峡 (No. 928)

と き 7 月 24 日 (火)

集 合 集会所 7 時 00 分

申込み 7 月 22 日までに河原まで

久しぶりに三段峡の溪流を楽しむのんびりプランです。イワタバコの花
が咲いていることを期待しています。

予 告

夏以降の予定をお知らせします。この予定は変更することもありますから一応の予定として理解してください。毎月の「山歩しよう」でお知らせするのが最終決定です。

8 月 24 日 (金) 寂地峡溪流遊び

9 月 7 日 (金) 道後山とすずらの湯

9 月 14 日 (金) 羅漢山 (ハチクマが見えないかなあ、、、)

10 月 6 日 (土) 辻神社神殿入り (夜のプラン。番外です)

10 月 30 日 (火) 三ヶ上 (紅葉プラン。マイクロバス利用)

11 月 6 日 (火) 三瓶山 (紅葉プラン)

11 月 16 日 (金) 足立山 (北九州市のやまです。マイクロバス利用)

12 月 7 日 (金) 観音山 (生口島にある山。マイクロバス利用)